

72巻2号

2017年4月1日

YAA 天文会報

(4~6月号)

772号

〒226-0016

横浜市緑区霧が丘 4-1-7-402

正木 仁 方

Mail: masaki@e08.itscom.net

HP: <http://home.n03.itscom.net/yaa/index.html>

横浜天文研究会



撮影：
山形幹夫

観望ガイド

正本

早いもので4半期が終わり、新年度を迎えました。今年は桜の開花が遅く、南足柄にある私の勤務先の桜はこの週末まだ開花しない樹もあり、例年は満開で新入社員を迎えるのですが、かわりに今年は長く花を楽しめそうです。

宵の明星として夕空に輝いていた金星が明けの空にまわってしまい、さみしい夕空になってしまいました。代わりに先月末から日没後西空低く水星がポツンと光っています。4月1日が東方最大離角（ -0.1 等）です。

こと座流星群が4月中旬から下旬に活動します。極大は22日21時ごろと予想されています。月明かりの影響も少なく、空の暗い場所では1時間当たり10程度の出現が見込まれます。明るい流星が多いのが特徴です。みずがめ η 流星群が、ゴールデンウィークのなか5月6日に極大となりますが、11日が満月で出現数の推移はなだらかに変化しますから、観測するには極大前が比較的よいと思います。放射点は東天に低いため、観測できるのは天文薄明が始まるまでの1時間半程度に限られます。出現数はこと座群と同程度の予想です。東天低くから飛び出すような経路の長い流星が印象的です。

4月8日に木星がおとめ座の中で衝（ -2.5 等）を迎え、これからしばらく見やすい時期が続きます。30日に夜明け前の空で金星が最大光輝（ -4.5 等）、西方最大離角は6月3日です。早起きすると、秋頃まで東天高く輝く姿を見ることができます。

6月12日にジョンソン彗星（C/2015 V2）が近日点を通過します。太陽へは接近しませんが、地球に0.81天文単位まで近づきます。うしかい座から、おとめ座とてんびん座の間を南下していきます。光度は5等級になるかと予想されています。夕空に見やすい場所ですから双眼鏡で探してみましよう。



月齢1.3の月

2017年3月29日18時46分

300mm / ISO:3200 / シャッター速度:8sec

/ 絞:F5.8

【4月例会】

4月15日（土）18時00分～19時30分
東戸塚地区センター2F 小会議室

お空は人工衛星でいっぱい

山形幹夫

冬の天体のハイライトであるオリオン座。いろんな星雲があり楽しい撮影対象です。でもそこを撮影すると赤道上有る静止衛星が写りこんでしまいます。今やそれは数分の露出では避けられないほどの数に達しているようです。下の写真は50mmの標準レンズで撮影した画像を拡大したものです。こんな焦点距離のレンズでも写りこんでしまいます。明るい軌跡の下に良く見ると暗い軌跡があり、2台の静止衛星が写りこんでいます。気づいた時は哑然としました。もう笑うしかないでしょうか。【写真データ】撮影対象:オリオン座 Nikon D810A + Nikkor 50mmf1.8G/F4 ISO1600 露出180秒 撮影日:2016年11月26日 撮影地:長野県入笠山



<表紙写真>

冬の代表オリオン座の馬頭星雲付近です。画面下の方に衛星の軌跡が2本、左上から下に1本と合計3台の衛星の軌跡が写りこんでいます。

【表紙写真撮影データ】撮影日2016年11月26日 SharpStar 8cmED F6(f=480mm) 屈折望遠鏡+フラットナーレンズ Nikon D810A ISO3200 露出180秒 x6枚コンボジット トリミング処理有り 撮影地:長野県入笠山

太陽黒点

観測者：藤森 賢一（諏訪） 機材：8cm屈X67 15cm投影

日	2016年12月					2017年1月					2017年2月				
	N		S		全	N		S		全	N		S		全
	g	f	g	f	R	g	f	g	f	R	g	f	g	f	R
1	-	-	-	-	曇	0	0	0	0	0	2	7	0	0	27
2	3	11	1	7	58	0	0	0	0	0	3	12	0	0	42
3	1	4	1	11	35	0	0	0	0	0	1	4	0	0	14
4	0	0	1	10	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	1	8	18	0	0	0	0	0	-	-	-	-	雪
6	0	0	1	8	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	1	10	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	1	4	14	-	-	-	-	雪	0	0	0	0	0
9	-	-	-	-	曇	0	0	0	0	0	-	-	-	-	雪
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	0	0	19
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	18
12	1	2	0	0	12	0	0	0	0	0	1	7	0	0	17
13	-	-	-	-	雨	1	2	0	0	12	1	5	0	0	15
14	-	-	-	-	曇	-	-	-	-	曇	1	2	0	0	12
15	1	2	0	0	12	-	-	1-	-	雪	1	2	0	0	12
16	0	0	0	0	0	2	7	0	0	27	0	0	0	0	0
17	-	-	-	-	曇	2	7	0	0	27	-	-	-	-	雨
18	0	0	0	0	0	2	8	0	0	28	0	0	0	0	0
19	1	4	0	0	14	2	8	0	0	28	0	0	0	0	0
20	0	0	0	0	0	-	-	-	-	欠測	-	-	-	-	曇
21	0	0	1	5	15	4	21	0	0	61	1	4	0	0	14
22	-	-	-	-	曇	3	23	0	0	53	1	5	0	0	15
23	0	0	0	0	0	3	23	0	0	53	1	3	0	0	13
24	0	0	0	0	0	2	12	0	0	32	1	2	0	0	12
25	0	0	0	0	0	2	10	0	0	30	1	2	1	3	25
26	-	-	-	-	曇	2	13	0	0	33	1	2	1	2	24
27	-	-	-	-	雨	2	6	0	0	26	2	8	0	0	28
28	0	0	0	0	0	2	6	0	0	26	3	17	0	0	47
29	0	0	0	0	0	2	6	0	0	26					
30	0	0	0	0	0	1	2	0	0	12					
31	0	0	0	0	0	1	2	1	5	27					
平均	4.0		6.2		10.3	18.0		0.6		18.6	13.7		1.0		14.8

日月星の伝承を訪ねて (51)

横山好廣

《故郷の星》⑧

近年の聞き取り調査報告から (続き)

●2016年8月8日 早朝、平沢漁港にて、昭和5年・12年生まれの元漁師さんからの話

「イカ漁には、星を使った」

- ・ヨアケボシ-----金星。夜明けに出る明るい星。
- ・サンコー-----オリオン三星。縦に同じ明るさの星が等間隔に並んでいる。
- ・アオボシ-----シリウス。サンコーの後に出てくる。

- ・これらの星が出てくると、イカが浮いてきてよく釣れた。
- ・この辺りのイカは大きくなっていないので、スルメにしなかった。スルメにするには北海道辺りの大きさが向いている。
- ・このイカは身が柔らかく、大きさ的にもイカめしの材料にするのに適していた。

*「サンコー」「アオボシ」の名を挙げることの出来る人も少なくなっている昨今、嬉しい出会いであった。

故郷でとれるイカが「イカ飯」の材料に合うという話を初めて聞いた。自分の経験では、刺身で食べることが多かったので、イカ飯の話には驚いた。

ところが、その後、イカの釣具にまで話が及んだことは、全く予想外で、思いがけない収穫であった。書物等で知り得た知識が、実際の経験者に話を聞いたということは貴重であった。

「トンボとかヤマデという釣り具はイカが深いところにいるときに使う。この仕掛けは天秤仕掛けで、手びしで釣るもので、擬餌針を天秤の両側に2~3個ずつ下げるようになっていた」

「ハネとかハネコという釣り具は、イカが浮いてきたときに使う。この道具は竹竿をY字に配した形で桐の木に固定したもので、左右の手で桐の把手を握って操作する。桐の木は軽く、水を吸わないので扱いやすい。」

「イカ釣りの道具は物置を整理したときに処分した」

*イカ釣りの道具を実見出来なかったのは残念であったが、イカ釣りに関する事柄が伝承されていることに感銘し、伝承は続いていることを実感し、元気づけられた。

(故郷の星 了)

天象

相原 榮

4月

水星:前半は夕方の西天で観望好期 $-0.3\sim+5.1\sim+2.4$ 等 うお→おひつじ→うお座
金星:明け方の東天低空から高度を上げる $-4.1\sim-4.6$ 等 うお座
火星:20時半頃沈む $+1.5\sim+1.6$ 等 おひつじ→おうし座
木星:夕方昇り夜半に南中 観望好期 $-2.5\sim-2.4$ 等 おとめ座
土星:夜半前に昇り3時頃南中 観望好期 $+0.2\sim+0.1$ 等 いて座

4日 03h39m 半月(上弦)

23h17m 清明

11日 21h08m 満月

未明の南東天で月と木星の接近

17日 未明の南天で月と土星の接近

19日 18h57m 半月(下弦)

20日 06h27m 穀雨

22日 15h こと座流星群が極大の頃

26日 21h16m 新月

5月

水星:明け方の東北東天 後半は高度低下 $+2.4\sim-0.4$ 等 うお→おひつじ座
金星:明け方の東天で輝く 下旬は観望好期 $-4.5\sim-4.3$ 等 うお→くじら→うお座
火星:夕方の西天 $+1.6\sim+1.7$ 等 おうし座
木星:夜半前に南中 夜明け前に沈む $-2.4\sim-2.2$ 等 おとめ座
土星:夜半過ぎ南中明け方沈む 観望好期 $+0.1\sim+0.0$ 等 いて→へびつかい座

3日 11h47m 半月(上弦)

5日 16h31m 立夏

6日 05h みずがめ座 η 流星群が極大の頃

7日 深夜の南天で月と木星の接近

11日 06h42m 満月

14日 未明の南天で月と土星の接近

19日 09h33m 半月(下弦)

21日 05h31m 小満

26日 04h44m 新月

6月

水星:中旬まで明け方の東北東天低空 $-0.4\sim-2.4\sim-1.2$ 等 おひつじ→おうし→ふたご座
金星:明け方の東天で高度を上げる 観望好期 $-4.3\sim-4.2$ 等 うお→おひつじ→おうし座
火星:夕方の西天低空 $+1.7$ 等 おうし→ふたご座
木星:宵に南中 夜半過ぎに沈む $-2.2\sim-2.1$ 等 おとめ座
土星:夜半頃南中夜明け前に沈む 開いた環を一望 観望好期 $+0.0$ 等 へびつかい座

1日 21h42m 半月(上弦)

5日 20h37m 芒種

9日 22h10m 満月

10日 未明の南西天で月と土星の接近

17日 20h33m 半月(下弦)

21日 13h24m 夏至

明け方の東天で月と金星の接近

24日 11h31m 新月

27日 13h 6月うしかい座流星群が極大の頃